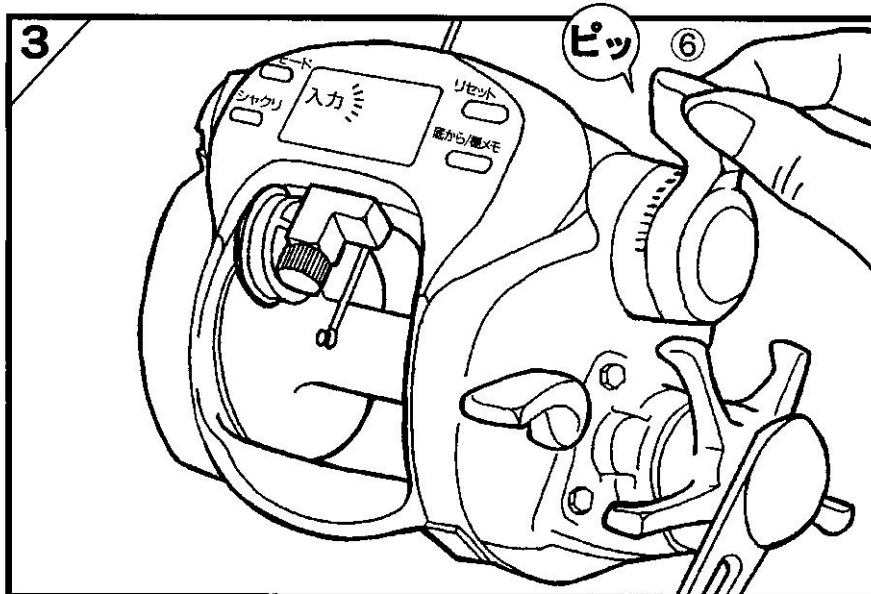
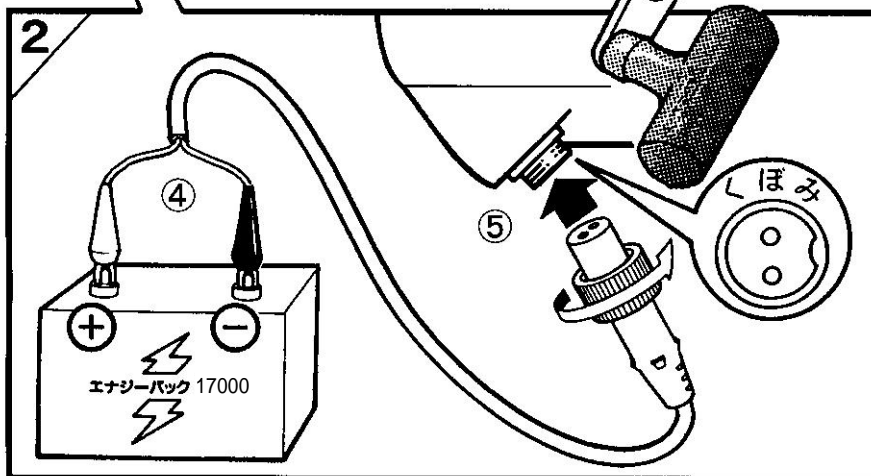
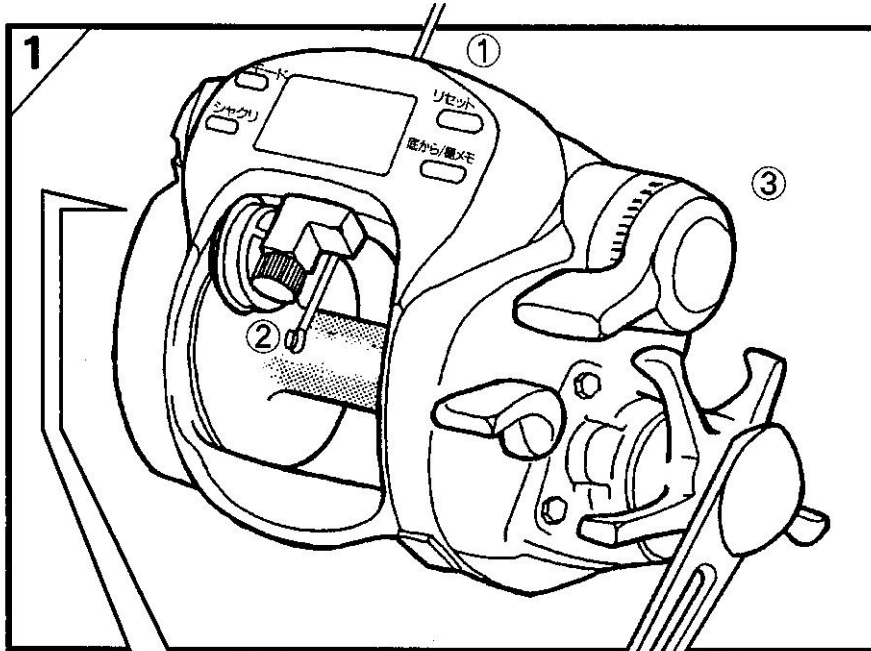


シーボーグブル1000・スーパータナコン X500CP・X500WP・S500W・
X600CP・X600WP・S600W・タナコンブル750

スケール入力

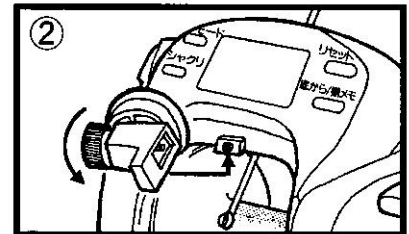
「柵センサーライト」を巻かれる方はもっとかんたんな
入力方法もあります。くわしくは指定入力参照。



道糸をレベルウィンドに通してスプールに結んでください。

- 1 付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。
- 2 スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

図のように「速攻スケール」をリール本体に取り付けます。



レバーをOFFまで戻します。

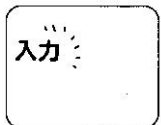
ワニグチクリップを電源 (DC12V) につなぎます。

赤キャップ プラス(+)
黒キャップ マイナス(-)

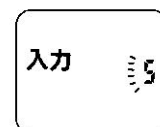
コードコネクターをリール本体に取り付けます。

コネクターは+-逆接防止のため図のような形状(くぼみ)になっております。ご注意ください。

自動的に入力モードになります。



パワーレバーをMAXの位置まで倒して道糸を最後まで巻きます。



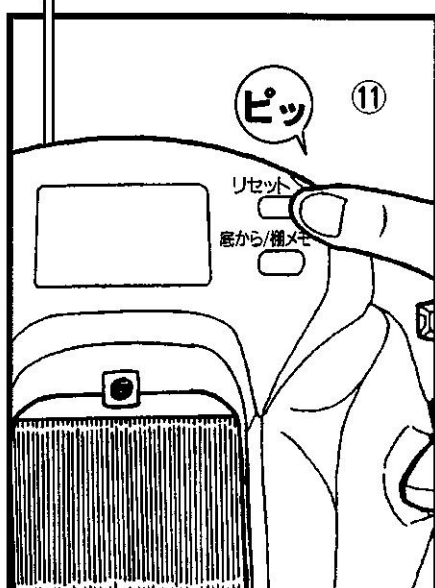
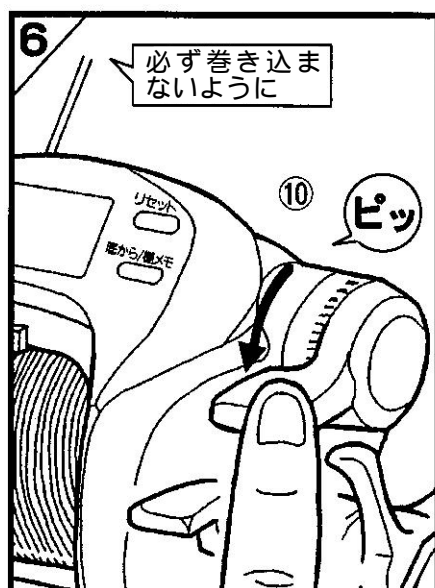
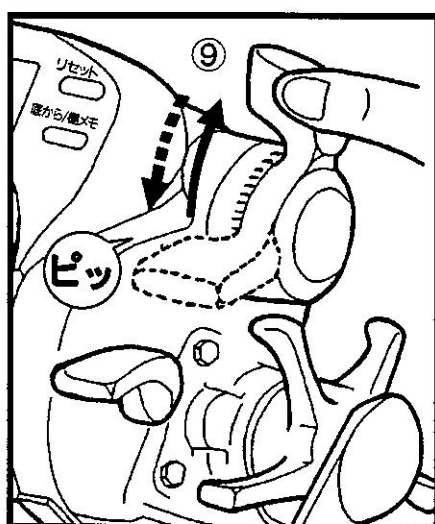
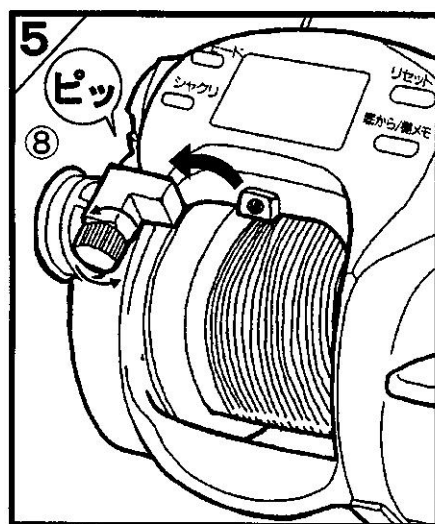
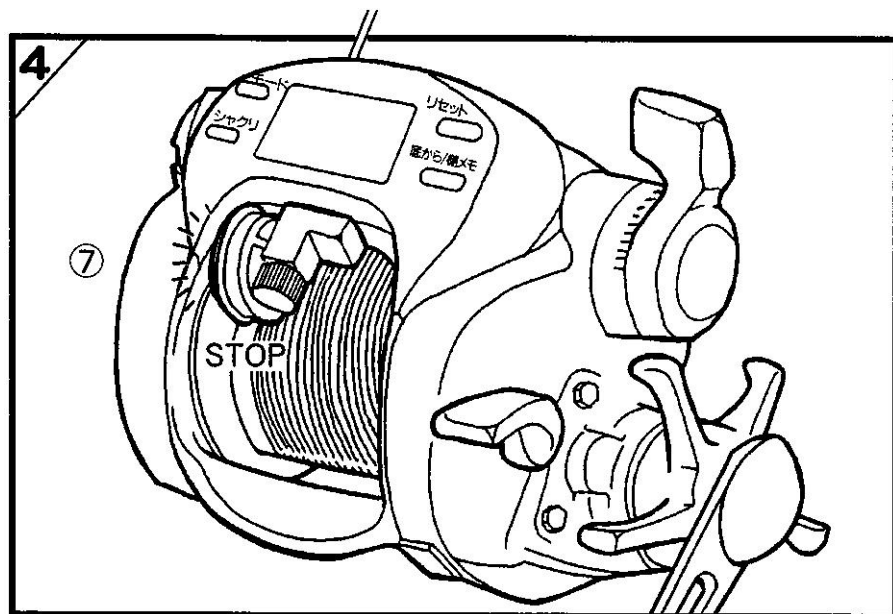
500はパネル右の数字が、4~5になるようにテンションを調整して巻いてください。
(600に6号・500mを入力する場合は、5~6のテンションで巻いてください。)

(750に入力する場合は、スケールに当たるまでは5~6のテンションで巻き、当たった後は7~8のテンションで巻いてください。)

(1000に入力する場合は、6~7のテンションで巻いてください。)

フィンガーガードに糸が当たるとリールが傷つくことがあります。糸が当たらないようご注意ください。

最初に道糸を巻くときや、巻きかえるときは以下の操作を行ってください。
マイコンに道糸のデータが入力されカウンターが正常に働きます。



「速攻スケール」に道糸が当たるまで巻いてください。

スケールに当たると、ローラーが回り自動的に停止し、表示が変換します。

【ご注意】 スケールに当たるまでの巻糸量は、

「柵センサーブライト」で

500サイズ		600サイズ	
4号	270m程度	5号	300m程度
5号	210m程度	6号	250m程度
6号	160m程度	8号	190m程度
8号	120m程度	10号	140m程度
750サイズ		1000サイズ	
5号	500m程度	6号	740m程度
6号	440m程度	8号	520m程度
8号	320m程度	10号	420m程度
10号	240m程度	12号	330m程度
		15号	230m程度

テンションによって多少前後することがあります。

スケールを外してください。

レバーを1度OFFの位置まで戻し(アラーム音)再度レバーをMAXまで倒して(アラーム音)、残りの道糸を巻いてください。

巻き終わったら、レバーをOFFの位置まで戻します。(アラーム音)

【ご注意】

糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でレバーをOFFの位置にし、スイッチOFFにしてハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。

【リセット】スイッチを2秒以上、表示が0.0になるまで押してください。(完了)

指定入力

当社胴付系「棚センサーブライト」を巻くとき、たいへんかんたんな入力方法です。

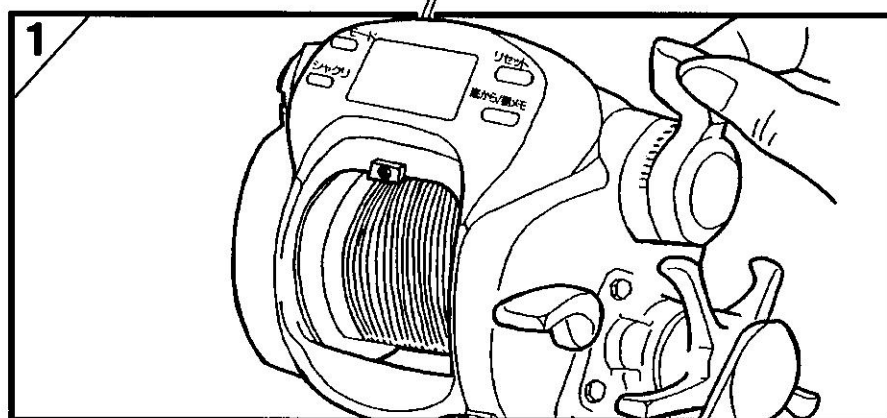


指定入力とは当社「棚センサーブライト」を巻くとき、「速攻スケール」を取り付けなくてもデータを入力するだけで道糸入力できる便利な入力方法です。

ただし、下記の場合のみ可能です。

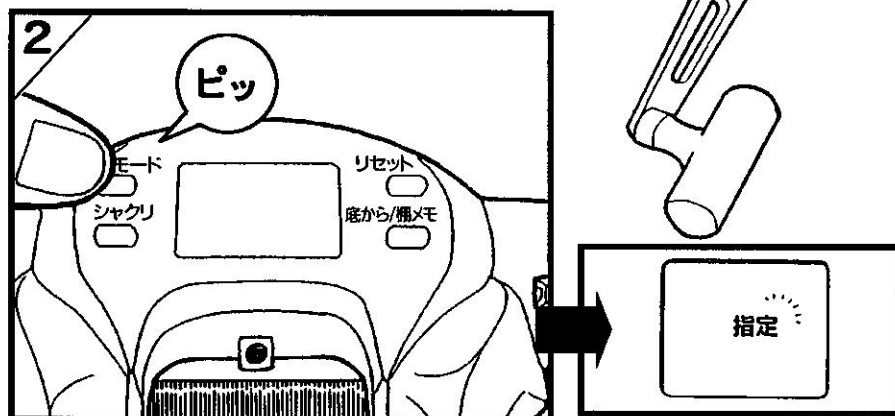
下巻きをしない場合

下記の表に記載されている号数および巻き糸量の場合



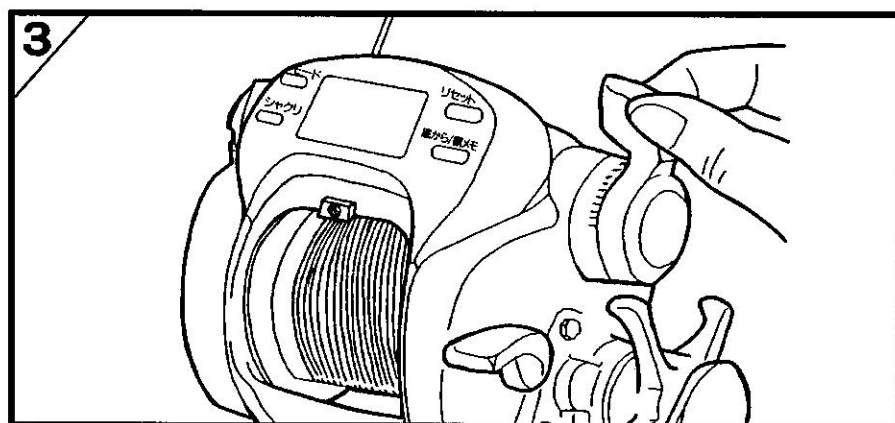
スプールに糸を結び通電して、用意した「棚センサーブライト」を巻きます。

- 1 スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。
- 2 糸は少しきつめのテンション(1Kgくらい)で巻いてください。



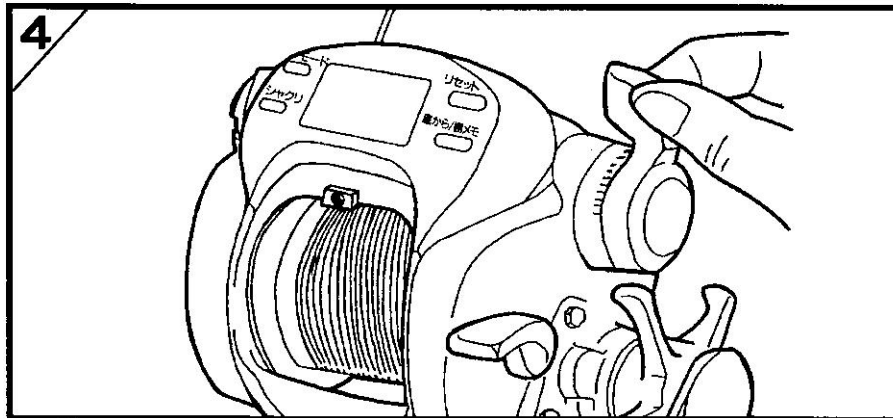
巻き終わったら、まずは、**モード**スイッチを5秒以上押してください。(修正モードになります)

次に、**モード**スイッチを1回押すと指定モードになります。



パワーレバーで上のデータをセットします。

(右表参照)



モードスイッチを押して、再びパワーレバーで下のデータをセットします。
 (下表参照)

セットが終わったら最後に**モード**スイッチを2回押して入力完了です。



表の見方 例えば500シリーズに6号を300m巻くときの、指定入力の上のデータと下のデータは？

棚センサーブライト		4号	5号	6号	8号
S500W	上のデータ			1860	
	下のデータ	200m			
		300m			2700
		400m			

上のデータ : 1860

下のデータ : 2700

棚センサーブライト		3号	4号	5号	6号	8号	
500 シリーズ	上のデータ	3940	2400	2240	1860	1300	
	下のデータ	200m	2370	2190	2050	2030	1800
		300m	3270	2980	2800	2700	
		400m	4080	3700			

スーパータナコン500シリーズにはあらかじめ「棚センサーブライト」6号 - 300mの指定入力データが入力されています。「棚センサーブライト」6号 - 300mを巻く場合は、データの入力は不要です。

棚センサーブライト		4号	5号	6号	8号	10号		
600 シリーズ	上のデータ	3430	2640	2040	1500	1130		
	下のデータ	200m	1720	1760	1690	1600	1500	
		300m	2500	2470	2350	2190		
		400m	3210	3100	2940			
		500m				上のデータ	2380	
				3780		下のデータ	3650	

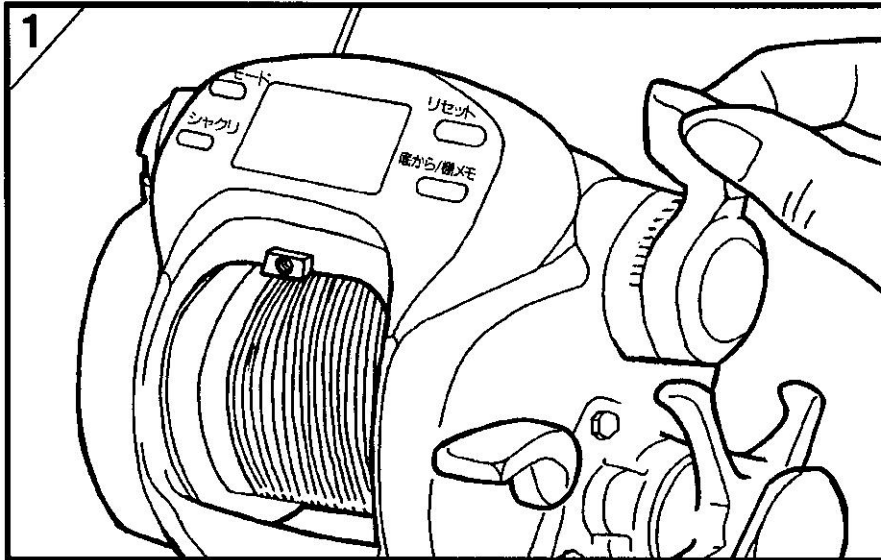
スーパータナコン600シリーズにはあらかじめ「棚センサーブライト」8号 - 300mの指定入力データが入力されています。「棚センサーブライト」8号 - 300mを巻く場合は、データの入力は不要です。

シーボグブル 1000

スーパータナコン X500CP・X500WP・S500W・X600CP・X600WP・S600W

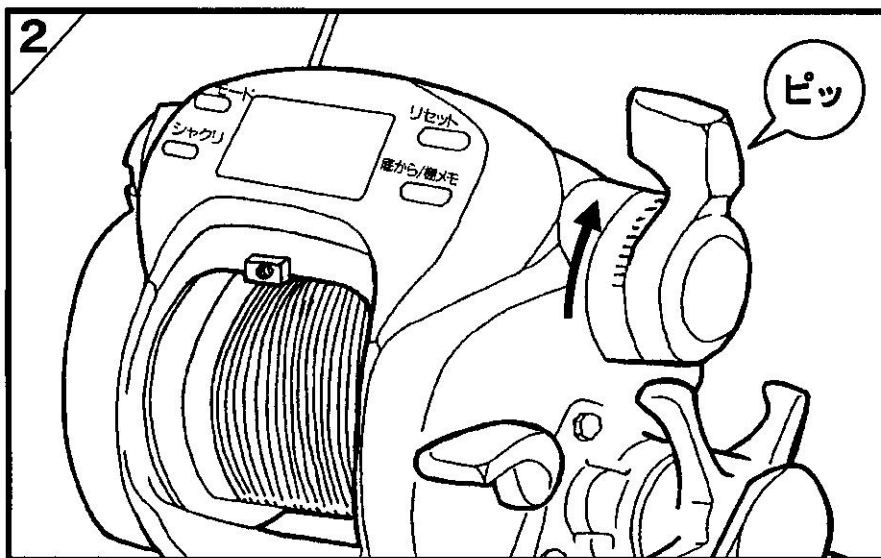
下巻き入力もできます。

(ただし、長さのわかる道糸が 100m 以上
必要です。)



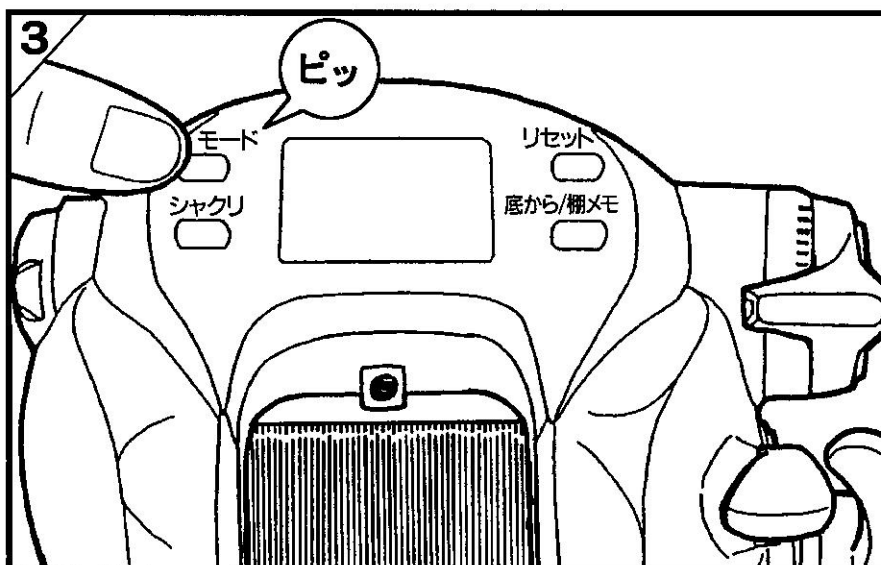
通电させ、パワーレバーをMAXの位置まで倒し、下巻き糸を適量まで巻いてください。

スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。



道糸と下巻き糸を結び、道糸の糸色を見ながら残り100mまで巻き取ります。

(ただし、用意した道糸量が100mの場合すぐからへ)



モードスイッチを5秒以上押してください。

500・600は修正モードになります。

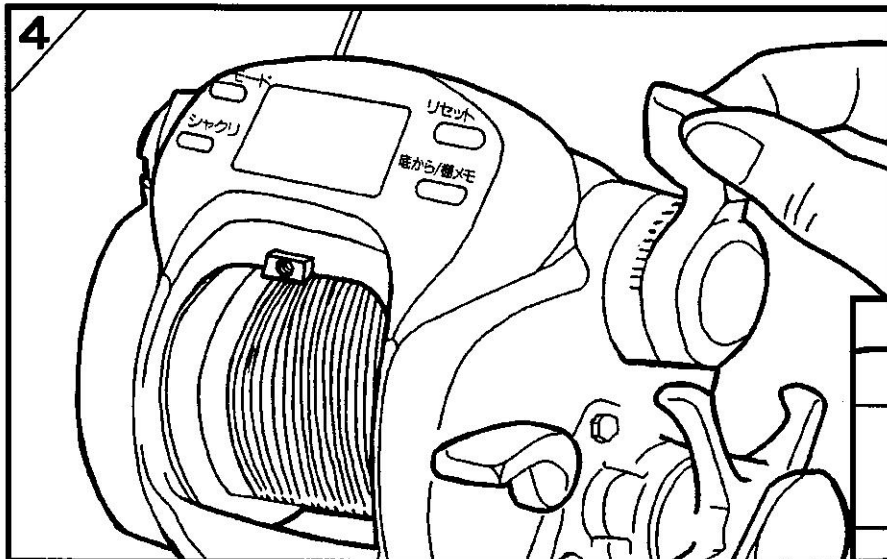
1000は **P1** モードになります。

次に、500・600は **モード**スイッチを3回押すと、1000は2回押すと下巻きモードになります。

・約1Kgのテンションで(1000の場合は6~7のテンションで)巻いてください。

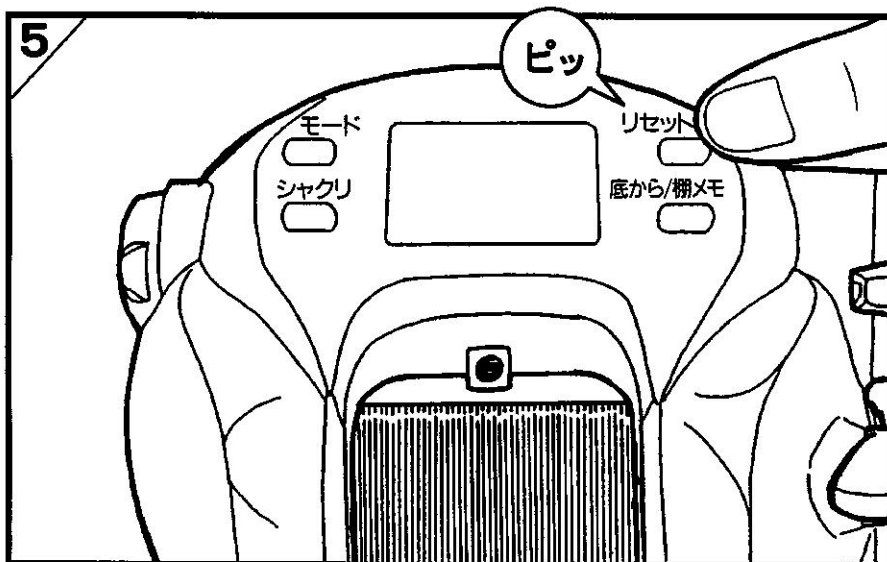
フィンガーガードに糸が当たるとリールが傷つくことがあります。

糸が当たらないようご注意ください。



道系の糸色に注意しながら50m巻き取り、**リセット**スイッチを2秒以上押ししてください。

(下の数字が **50** **100** に変わります。)



同様に残りの50mを巻き、**リセット**スイッチを2秒以上押ししてください。(表示が **0.0** になります。)

これで完了です。